

高松市地球温暖化対策実行計画の 進行管理指標の見直しについて

1) 高松市地球温暖化対策実行計画の概要

- ・「高松市総合計画」や「高松市環境基本計画」を上位計画とする地球温暖化対策推進法に基づく。
- ・本市の温室効果ガス排出を抑制する「緩和策」と気候変動に対して被害を軽減する「適応策」に関する取組を定めた計画。地域気候変動適応計画も含む。

■ 計画期間

2017年度（平成29年度）～2030年度（令和12年度）

■ 高松市全体の温室効果ガス排出量削減目標

2030年度目標 **46%**削減（対2013年度比）

○ 4年ごとに進行管理指標の見直しを検討

○ 社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直す。

年度	平成29	平成30	平成31	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11	令和12
	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
計画期間														
					★			★				★		目標年度

「緩和策」

基本施策

1 省エネルギーの推進

2 再生可能エネルギー等の拡充

3 脱炭素型のまちづくりの推進

4 循環型社会の形成

主要施策

1-1 脱炭素型ライフスタイルの普及促進

1-2 省エネ行動の促進

1-3 環境教育・環境学習等の実践

2-1 太陽光エネルギーの活用

2-2 その他再生可能エネルギー等の活用

3-1 建物のゼロエネルギー化の促進

3-2 乗り物のゼロエネルギー化の促進

3-3 脱炭素型地域交通モデルの構築

3-4 脱炭素型まちづくりの推進

3-5 温室効果ガス吸収源対策の推進

4-1 家庭系ごみの減量・資源化の促進

4-2 事業系ごみの減量・資源化の促進

「適応策の重点分野」

- 農業・林業・水産業
- 水環境・水資源
- 健康
- 自然災害・沿岸域
- 国民生活・都市生活

2) 地球温暖化対策実行計画見直しの考え方

■ 進行管理指標の見直し

地球温暖化対策実行計画は、4年ごとに進行管理指標の見直しを行うこととしており、令和6年度が、指標の見直しの時期となる。

■ 主要施策における取組の追加

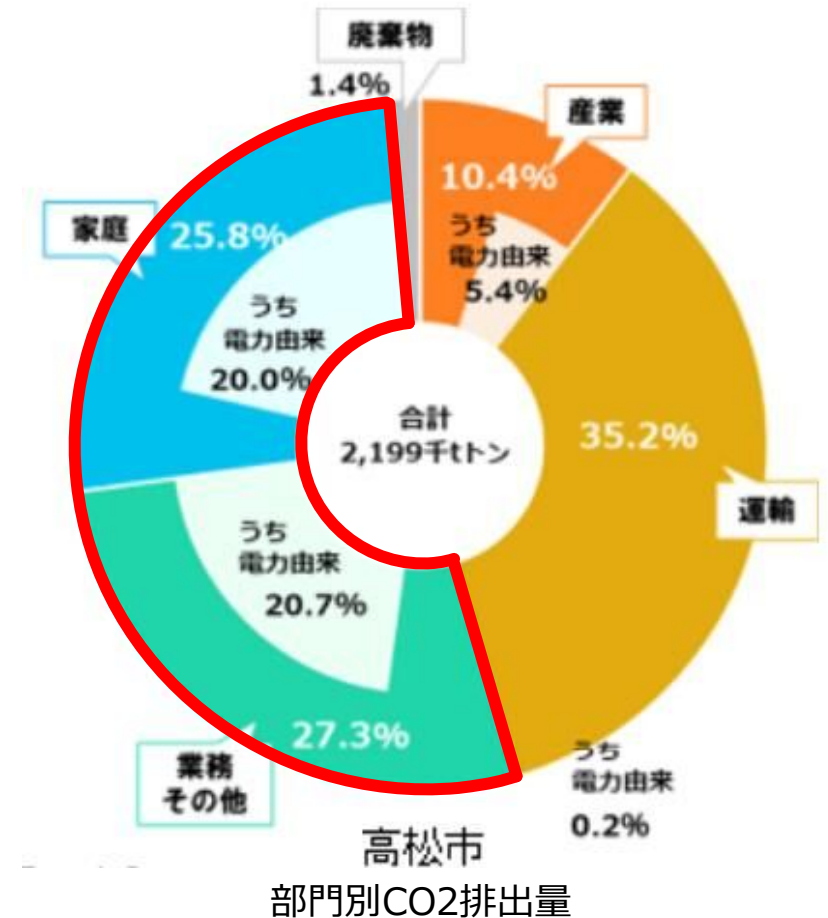
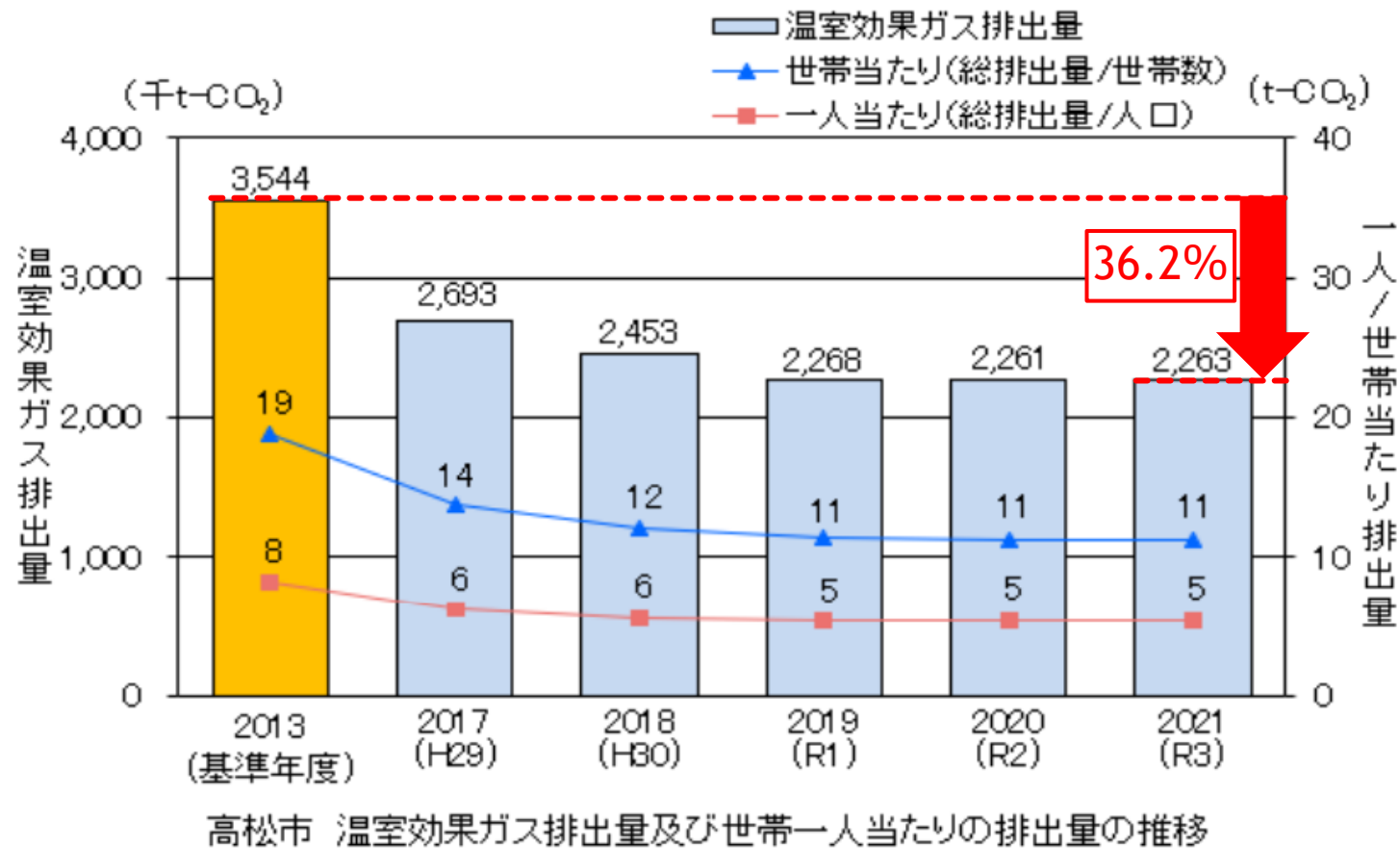
- 社会情勢が大きく変化した場合には、必要に応じて計画の見直しを行うこととしている。令和3年度の見直し以降の法改正や地球温暖化対策を巡る動向などを踏まえ、新たな目標達成のための施策を追加する。

基本施策	主要施策	取組	重点取組
省エネルギーの推進	脱炭素型スタイルの普及促進	国民運動「デコ活」の普及促進	◎
脱炭素型のまちづくりの推進	建物のゼロエネルギー化の促進	照明のLED化の推進	
脱炭素型のまちづくりの推進	乗り物のゼロエネルギー化の促進	電気自動車用急速・普通充電器の設置の推進	◎
脱炭素型のまちづくりの推進	温室効果ガス吸収源対策の推進	藻場の造成に向けた調査・検討	◎
循環型社会の形成	家庭系ごみの減量・資源化の促進	プラスチックごみ一括回収の検討 給水スポットの設置拡大	

気候変動適応計画において、熱中症対策として「熱中症特別警戒アラート」が発令された場合に開放される「クーリングシェルター」の指定施設の拡充を追加

3) 本市の温室効果ガス排出量の状況

- 温室効果ガス排出量は、2021年度では、2013年度比で約**36.2%**減少している。
- 対13年度比46%減の直線上の目標値推計（21.6%）を下回っている。
- 本市の特性として、住宅や事務所、車両が多いため、民生部門（家庭・業務）の割合が半数強を占めている。



4) 進行管理指標の見直し

基本施策 1) 省エネルギーの推進

- ① **【環境学習講座参加者数】** 実績値はH25年度から算定年度までの参加者数の平均。1年間の実施回数及び1回当たりの参加人数に限られていることから、これまでの実績を考慮し**2,725人→2,000人に下方修正**
- ② **【ゼロカーボンシティ認知度】** アンケート結果。R5時点でR6目標値を達成していることことから、**70%→90%に上方修正**
- ③ **【推進リーダー登録者数（累計）】** R5の実績を踏まえ、**710人→620人に下方修正**。団体の登録数の目標値を新たに追加 **(90団体)**

指 標	基準年 (H25年度)	R5年度実績	目標値 (R6年度)	目標値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
環境学習講座参加者数	1,937人	1,787人	2,500人	1,940人	2,000人
南部クリーンセンター環境学習参加者数	3,015人	4,077人	3,800人	4,050人	4,250人
ゼロカーボンシティ認知度	—	44.4%	30%	77%	90%
脱炭素型ライフスタイル推進リーダー登録者数（累計）	—	68人, 10団体	200人, 30団体	480人, 70団体	620人, 90団体

4) 進行管理指標の見直し

基本施策2) 再生可能エネルギー等の拡充

指標	基準年 (H25年度)	R5年度実績	目標値 (R6年度)	目標値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
市内における太陽光発電システム導入容量	58,940 kW	249,625 kW	279,107kW	339,507 kW	369,707 kW
蓄電システムへの市補助件数(累計)	27件	1,073件	1,000件	1,533件	1,800件
下水道汚泥ガス年間利用率	37.1%	97.6%	97.2%	97.2%	97.2%

4) 進行管理指標の見直し

基本施策3 脱炭素型のまちづくりの推進

〔市民1人当たりの都市公園等の面積〕令和8年度以降は新たな整備計画がないため指標削除

指標	基準年 (H25年度)	R5年度実績	目標値 (R6年度)	目標値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
ZEH(新築)導入件数(累計)	2件	590件	690件	930件	1,050件
次世代自動車の普及数	13,767台	50,737台	49,122台	59,821台	65,170台
次世代自動車のうちEV・PHV普及数	137台	1,557台	1,620台	2,340台	2,700台
市内における電気自動車用急速充電器設置数	7基	30基	34基	66基	96基
公共交通機関利用率	13.7%	14.1%	16.6%	17.3%	R11以降目標は 今後決定
自転車走行空間の整備済延長(累計)	4.2 km	12.0 km	13.0 km	13.1 km	R11以降目標は 今後決定

4) 進行管理指標の見直し

基本施策 4 循環型社会の形成

①〔1人1日当たりのごみ資源化量〕環境基本計画での指標の削除に伴い削除

②〔食品ロスを出していないと思う人の割合〕「高松市食品ロス削減推進計画（令和4年2月策定）に掲載している指標に変更

※これまで「食品ロス削減に取り組む消費者の割合」（地球温暖化に関する市民アンケートの調査結果）を使用

指標	基準年 (H25年度)	R5年度実績	目標値 (R6年度)	目標値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
1人1日当たりのごみ排出量	985 g	866 g	867 g	851 g	845 g
食品ロスを出していないと思う人の割合	—	44.7%	—	65%	75%

4) 進行管理指標の見直し

市役所の率先実行

指標	基準年 (H25年度)	R5年度実績	目標値 (R6年度)	目標値 (R10年度)	目標値 (R12年度)
市有施設における太陽光発電導入数(累計)	51件	78件	82件	86件	89件
市有施設における年間発電量	2,797 MWh	16,496 MWh	17,865 MWh	18,552 MWh	18,896 MWh
公用車の電気自動車保有台数	6台	16台	14台	20台	22台

5) 国の「地球温暖化対策計画」見直しの動向

- 国においては、2035年の新たな温室効果ガスの排出削減目標について、現行計画が2050年までに排出量を実質ゼロにする目標と整合しているとして、2030年度に、13年度比で46%減の延長線上にある60%減を軸に調整する考えを示した。
- このため、本市地球温暖化対策実行計画については、国の地球温暖化対策計画の改定内容や、国が示す見直しの方向性などを踏まえ、必要に応じて、温室効果ガス削減目標や、その取組などについて、改めて見直しを行う予定です。